

施策名：感染症・伝染病対策の確立

事業名	担当課・室名	ページ
結核医療体制強化事業	健康づくり支援課	1 / 1
健康危機管理対策推進事業	健康づくり支援課	1 / 1
家畜伝染病緊急防疫体制整備事業	畜産振興課	1 / 1

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
1	結核医療体制強化事業 (H29 ~ R1) 健康づくり支援課 結核のまん延を防止し、結核罹患率を低下させるため、結核診療医師を養成し結核医療体制の維持を図る。	①結核診療医師の養成及び県内定着 12,163	西別府病院への研修医の派遣数 [人]	目標値	2	2		臨床研修を終了した医師の県内医療機関への配置数 [人]	目標値	2	2		A
				実績値	2	2			実績値	2	2		
				達成率	100.0%	100.0%			達成率	100.0%	100.0%		
				目標値					事業の成果・今後の方針				
				実績値					派遣医師に、臨床研修や調査研究のための支援を行なうことで、結核診療能力を有する医師の県内定着を図ることができた。今後は、住み慣れた地域で継続的に結核診療が受けられるよう、結核診療支援センターを設置し、結核診療医師の養成および結核診療の支援を行うため、令和2年度から「結核地域医療体制強化事業」を実施する。				
達成率													
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度										
予算	12,163	12,163											
決算	12,163	12,163											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	事業の成果・今後の方針				
2	健康危機管理対策推進事業 (H14 ~) 健康づくり支援課 健康危機情報の管理・発信や健康危機管理対応能力の充実・向上を図るため、健康危機管理体制の整備、連携を行うほか、保健所管内健康危機管理連絡会議や新型インフルエンザ対策本部訓練などを実施する。	①健康危機管理対応能力の充実・向上 ②新型インフルエンザ等の新興感染症対策 ③健康危機管理情報の管理・発信 ④健康危機管理体制の整備・連携	健康危機管理研修会として、DHEATの図上訓練を実施し、受援技術の向上等が図れた。年明けからは、本事業の目的でもある、健康危機への対策として新型コロナウイルス感染症への対応を行ってきた。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況にあわせ対応を実施する。				
				区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				予算	2,598	2,577	2,572
				決算	1,887	1,934	—

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	事業の成果・今後の方針				
3	家畜伝染病緊急防疫体制整備事業 (H23 ~) 畜産振興課 口蹄疫や豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の早期封じ込めと、まん延防止措置を迅速に行うための対策を講じる。	①発生農場の処分畜等の処理による封じ込め対策：死亡畜産等汚染物の処理対策、初動防疫活動 ②消毒ポイント設置によるまん延防止対策：緊急消毒ポイントの設置 ③県内家畜等飼養施設の清浄性維持対策：消石灰による緊急消毒、発生状況調査 ④畜産経営安定対策：移動制限による売上減少額の補填 【近年の特定家畜伝染病の発生状況】 ○高病原性鳥インフルエンザ 平成30年1月香川県での発生以後、発生無し。本県では平成29年度に消石灰による緊急消毒に取り組んだ。 ○豚熱 平成30年9月に国内では26年振りに岐阜県で発生。その後、発生地域が拡大し、令和2年3月末日現在、58例の発生。本県では令和元年度に電殺機の整備等に取り組んだ。 ○アフリカ豚熱 平成30年8月にアジア圏では中国で初発生。令和元年9月には、隣国の韓国でも発生が確認され、要警戒中。本県では令和元年度に野生動物侵入防止柵設置に取り組んだ。	特定家畜伝染病の発生に備えて、令和元年度に電殺機5台、リアルタイムPCRなどの検査機器を購入した。また、野生動物(いのしし)の侵入防止柵整備を実施し、32養豚農場が取り組んだ。今後、令和6年度までに全ての養豚農場に侵入防止柵を設置する。				
				区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				予算	198,000	30,315	500,000
				決算	0	30,314	—